

- 1 日 時 平成 28 年 8 月 31 日（水）10：30～12：00
- 2 場 所 障がい者福祉会
- 3 参加者 NPO 酒田市障がい者福祉会 理事長他 2 名
庄内視覚障害者協会 2 名
一般社団法人山形県聴覚障害者協会庄内支部 2 名
（市側）都市デザイン課 本間主査、今井主事

<ライブラリーセンター他施設全般>

（NPO 酒田市障がい者福祉会）

- ・車いすの人が届く本棚の高さにしてほしい。今の中央図書館の棚の高さだと届かない場所がある。
- ・車いすはエレベーターに前向きで乗ると、自力でバックするのが難しいため、前と後ろに扉がついているといい。
- ・DVD の鑑賞コーナーや視覚障がい者用に DVD に本の内容を吹き込んでいるもの（小説を音声にしているもの）が欲しい（県立図書館では貸出している）。
- ・障がい者用のトイレの設置もお願いしたい。
- ・障がい者の要望はお金がかかることなので、お願いするのが恐縮である。
- ・全てを全自動にするのは難しいと思うので、音声案内があればと思う。

（庄内視覚障害者協会）

- ・点字できる人は 1 割（庄内視覚障害者協会でも 1 人）のため、ほとんどの人が音声使った媒体を利用している。これから需要ももっと増えると思う。点字打てたとしても読めない人が自分を含めて多い。
- ・市役所の庁舎を建てる時にも同じような意見交換会があつて、言ったのだが、トイレやエレベーターの案内音声があると親切だと思う。トイレは、男女のトイレの位置（新庄駅や山形駅、仙台駅は導入済み）や自動水洗かどうかの音声案内や、レバーの場所がわかりやすいといい。最近のトイレはボタンがたくさんあり、どのボタンを押したらいいかわかりづらい。エレベーターは、階数案内やボタンに凹凸があるといい。いちいち人が通るたびに音声の案内が鳴るのは図書館にふさわしくないのかもしれないが、視覚障害者と音はいつもぶつかる問題である。
- ・螺旋階段は上り下りが大変である。実際にケガをしている人もいる。
- ・階段の手すりをなるべく途切れないで続いているといい。
- ・階段の端がわかるように、階段とすべり止めの色のコントラストをはっきりすると弱視の人わかりやすい（デザインの問題があるのかもしれないが）。踊り場に着いたら、音が鳴るところもある。
- ・点字ブロックの上に自転車が置いてある時があるため、自転車置き場と点字ブロックの位置に配慮してもらえたらと思う。
- ・最近、建物の中に点字ブロックの代わりに誘導マットを使っている（山形空港や山形駅西口の文化会館にある）。段差がないため、車いすの人にもいいと思う。点字が必要ないわけではない

ので、両方あるとよりいいのかもしれない。

(一般社団法人山形県聴覚障害者協会庄内支部)

- ・市役所のトイレのように明るいといい。
- ・新しい観光情報センターは、手話通訳の人を付けてもらえるのかそれとも筆談か知りたい。
- ・字幕が写る電光掲示板が欲しいという声があった。図書館を利用している聴覚障がい者多いが、本に夢中になっても災害等が起こった時に電光掲示板で文字が光ってお知らせしてくれるといい。
- ・文字が読めない聴覚障がい者もいるため、テレビ等で災害のマークや映像が流せるとよりわかりやすい。
- ・今の文化センターでは筆談で対応しているが、通じない時がある。ライブラリーセンターや観光情報センターでは、筆談が苦手な聴覚障がい者もいるので手話通訳できる人がいるといい。手話通訳いなくても、テレビ電話で遠隔手話通訳のようなサービスがあるので、それでもいい。タブレット端末からでもできる。